

平成28年2月3日

平成27年度 第3回学校協議会 議事録

委員：岡氏（元PTA 会長）、浦田氏（大阪工業大学）、
関元氏（西野田工友会会長）、中谷氏（PTA 会長）、
松本氏（野田阪神本通商店会会長）

ご欠席：矢野氏（株式会社大成CI代表取締役）

内容：

1. 開会 学校長挨拶

- ・今年度、最後の学校協議会です。就職や資格取得など1年間の成果についての報告させていただきます。また、学校教育自己診断についても、生徒、保護者の皆さんからの貴重な意見をいただいています。
- ・今年度は、入試日程が、従来の2月から3月に変わりました。そのため本校でも中学校に対する広報活動を強化し、現在、最後の中学校訪問にいています。
- ・昨年よりも今年、今年よりも来年と着実に学校を良くしていきたいと思っていますので、さまざまな方面から意見ををお願いします。

2. 学校教育自己診断について（参考：HP内、平成27年度学校教育自己診断）

（生徒について）

- ・全体として肯定的な意見が昨年度より増加している。（H26 62.5%⇒H27 66.8%）
- ・特に、「担任以外に相談できる先生がいる」が全学年で16～20%増加しており、生活指導部をはじめとする教員の丁寧な指導が実を結びつつある。
- ・「学校行事は楽しく行えるよう工夫されている」、「命の大切さや社会ルールについて学ぶ機会がある」は、学年によっては、肯定的な意見が減少しており、今後の更なる取り組みが必要である。

（保護者について）

- ・全般的には、肯定的な意見が70%を維持できている。
- ・「学校行事に参加したことがある」の項目で肯定的な意見が減少しており、ホームページなどによる行事予定の配信など、更なる情報発信をおこなう必要がある。

（教員について）

- ・「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導をおこなっている」、「生徒一人ひとりが興味・関心・適正に応じて進路が選べるようきめ細やかな指導がおこなっている」「生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる」の項目で肯定的な意見が増加しており教員自身が生徒に寄り添った丁寧な指導を意識している。
- ・一方、「教育活動について、教職員で日常的に話し合っている」「教育活動全般にわたる評価をおこない、次年度の計画に活かしている」の否定的な意見が増加している。風通しの良い職場づくりやPDCAサイクルを活用した改善の取り組みを推進していく。

3. 就職・進学について

- ・本年度の就職の求人は1月末現在、1201人（昨年度1018人）で大幅に増加している。
- ・就職の実績は、学校紹介希望者142人中138名が内定を決定している。未内定の生徒についても現在指導中であり、100%の就職をめざしている。
- ・公務員についても、建築都市工学系で6名が合格している。
- ・進学については、希望者51名中45名が合格しており、残りの生徒は現在受験中である。

4. 資格取得について

- ・延べ合格者数については1月末現在528人で昨年度（497人）に比べ、若干増にとどまっている。
- ・今年度の特徴は、昨年度に比べて、受験している資格の種類が増えていること、測量士捕や第1種電気工事士など難易度の高い資格に挑戦し合格者が出ていることがあげられる。

5. 本校の状況について

- ・教務関係、生徒指導関係、進路関係、資格取得の月次推移について説明。
- ・特徴的な項目として、生活指導の遅刻数が昨年比、20%以上減少している。

6. トピックス

①修学旅行について

1/26～29の3泊4日の日程で北海道（小樽、夕張方面）に2年生が修学旅行に行き、全員無事に帰阪した。

②中学校訪問について

今年度は、中学校へのPR活動の活発化の一環として3回（7月、12月、2月）の中学校訪問を全教員で行った。本校や工科高校の特徴をPRする以外に、在校生の様子など意見交換をおこなった。

③広報活動について

今年度は、教頭、首席を中心に外部の進学相談会などに25回参加した。（昨年度16回）クラブなどの生徒の外部発表は、11回になり昨年度より増加した。（昨年度8回）

7. 学校経営計画及び学校評価について（参考：HP内、平成27年度学校経営計画及び学校評価報告書）

校長より、本日の各報告内容に基づいて平成27年度学校経営計画及び学校評価の説明をおこなった。

8. 来年度の学校協議会日程について

来年度の学校協議会の日程を以下のとおり説明した

- ・第1回：H28年 5月24日（火）
- ・第2回：H28年10月 5日（水）
- ・第3回：H28年 2月 8日（水）

9. 意見交換

①学校教育自己診断に関して

- ・授業中、騒がしいとの生徒や保護者からの意見がある。昨年度に比べ、授業時間中の巡回等で改善されているが、さらにしっかりと生徒が勉強できる体制を整えてほしい。
- ・トイレの洋式化や美化についての意見が多くあるが、ぜひ、実現をしてほしい。小学校、中学校はきれいになってきている。高校もトイレを改善することで生徒の学校生活を快適にするだけでなく落書きが減るなど生徒のモラルアップにもつながる。

②遅刻指導に関して

- ・昨年度に比べて20%以上減少していることは、大変素晴らしいと思う。さらに、工夫した指導をおこなっていただきたい。
- ・遅刻をせず、頑張って毎日来ている生徒を褒めてより頑張る気になるような取り組みをお願いしたい。たとえば、卒業式での皆勤賞以外に精勤の生徒を表彰し、数回（1～2回）の遅刻の生徒が最後まで頑張れる仕組みを検討して欲しい。
- ・校長や多くの先生が、毎日、校門に立って登校する生徒への挨拶や気になる生徒への声かけは大変効果があると思う。さらに活性化を図ってほしい。

③中学校訪問などの広報活動に関して

- ・西野田工科はこんな学校だと明確にしてアピールすることが大切である。
- ・高校生ものづくり大会での優勝や卒業生で技能五輪に出場したことをHPなどに載せ知ってもらおうとアピールになる。
- ・在学生に卒業した中学校に行ってもらい、高校での様子を自分の言葉で報告してもらおうと効果的だと思う。
- ・今年度、工業デザイン系の生徒が作成した作品（体験入学の宣伝ポスター）を作った生徒が卒業した中学校で掲示してもらおう取り組みは大変良い。

以 上